



Zero carbon week 2022 開催 ～西海市の脱炭素への取り組み～

2022年12月の
記事はこちら



西海市長 杉澤泰彦氏のスピーチ



トークセッションの様子



地産地消フード

脱炭素社会に向かうまち西海市で2022年11月10～12日の3日間、西海市が主催の脱炭素イベント「Zero carbon week 2022」が西海市オリーブベイホテルにて開催されました。

本イベントの企画・運営を担当した、西海市の地域商社「株式会社西海クリエイティブカンパニー（※）」の企画担当者からお話を伺いました。

（※）株式会社西海クリエイティブカンパニーは2017年12月に西海市・親和銀行（現十八親和銀行）等によって設立された地域商社。社名には、西海市の魅力ある産品、サービス、人、コトを発掘し、クリエイティブ（創造的）な視点で新たな価値を生み出す会社という想いが込められています。



インスタレーションアートの展示



来場者に配られたノベルティ（エコグズ）

トークセッションをメインに開催した本イベントでは、脱炭素に取り組む企業をはじめとした総勢22名のゲストスピーカーが登壇され、3日間で累計200名を超える方にご来場いただきました。自治体が主催する脱炭素イベントで、トークセッションがメインとなった企画は全国で初めてです。

トークセッション後は、西海市産の食材を使用した脱炭素に向けた地産地消フード（猪肉のローストビーフ、コオロギ配合パンズのハンバーガー等）を提供し、参加者同士の交流会を実施しました。

また、会場の中庭ではCO₂フリー電気（電源：日産リーフ）を利用したインスタレーションアートの展示も実施しており、光と音の演出で持続可能な未来を表現した作品を展示しました。

西海市は、2021年にゼロカーボンシティ宣言（2050年カーボンニュートラル実現）を行い、中心政策として、「脱炭素社会」に向かうまち「西海市」を掲げております。

今後は、地球温暖化防止対策をはじめ、江島沖洋上風力発電の促進区域指定への取り組みや、松島火力発電所の高効率発電システムへの転換、市内産木材の生産、加工・消費の循環を目指す「緑の産業」創出など、脱炭素社会に向けたモデル地域づくりや産

業、地域振興を強力に推し進めていきます。本イベントは、来たる脱炭素社会をリードする人材の育成と事業が生まれるまちを目指す上で、カーボンニュートラルの共通意識を持った人の繋がりを創り、実行に移すためのイベントとなり得たと感じています。

西海市と西海クリエイティブカンパニーは、今回の取り組みを活かして脱炭素を中心としたまちづくりを継続し、ローカルからイノベーションを起こし続けてまいります。

イベント登壇者（敬称略）	
Day1	
九州大学 主幹教授、都市研究センター長、総長補佐 馬奈木俊介	
株式会社大島造船 取締役 経営本部 副本部長、総務部長、人事部長 下田恵一	
電源開発株式会社 火力エネルギー部 部長 飯田浩道	
ダイヤソルト株式会社 ダイヤソルト研究所 所長 山田文彦	
株式会社十八親和銀行 代表取締役 副頭取 大庭真一	
九州経済調査協会 調査研究部 次長 藤井学	
長崎県 企画部 産業労働部 政策監 三上健治	
リンカーズ株式会社 取締役 加福秀互	
Day2	
シンワラボ株式会社 代表取締役 加藤シゲキ	
有限会社山崎マーク 代表取締役 山崎秀平	
株式会社NTTデータ経営研究所 執行役員 村岡元司	
日産自動車株式会社 日本事業広報渉外部 主管 高橋雄一郎	
住友三井オートサービス株式会社 EV&カーボンフリー戦略推進部 部長 中村憲治	
川添酢造有限会社 久保桂奈	
株式会社大村湾リゾート 最高執行責任者 片山智弘	
（一社）山と海の郷さいかい 代表理事 橋本ゆうき	
Day3	
九州文化学園高等学校 2年生 國嶋元乃	
総合電機株式会社 代表取締役 佐藤淳一	
スマートエナジー熊本株式会社 代表取締役 横尾将	
アークエルテクノロジーズ株式会社 代表取締役CEO 宮脇良二	
長崎大学 経済学部 准教授 山口純哉	
株式会社大村湾リゾート 最高執行責任者 片山智弘	



企画担当者

辻 和一郎

（十八親和銀行ソリューション営業部から西海クリエイティブカンパニーに出向）



会社概要

株式会社 西海クリエイティブカンパニー

所在地 長崎県西海市西彼町喰場郷1686番地3

代表 宮里 賢史

創業 2017年12月

資本金 1,100,000円

HP



Facebook

